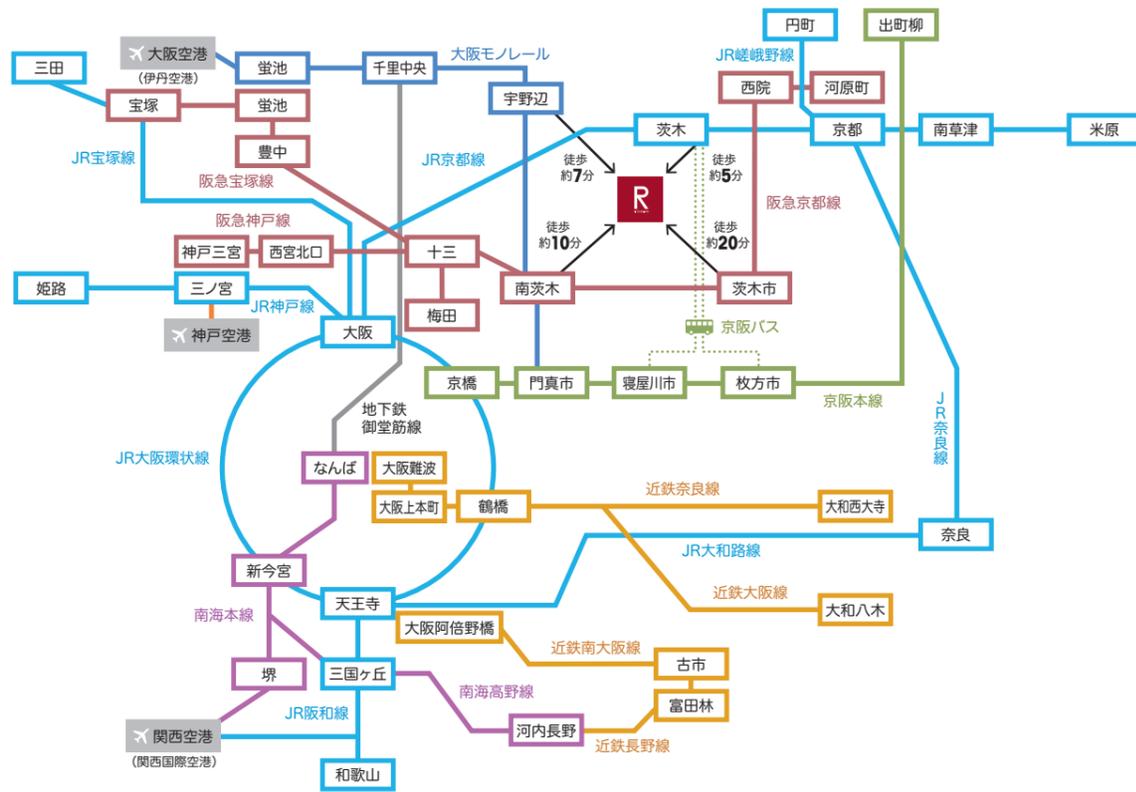




キャンパスは、JR、阪急、大阪モノレールからアクセスできる交通至便な立地で、通学圏が大きく広がります。また、新幹線や各空港へのアクセスもよく、国内・海外の各都市とのネットワークが広がります。



京都・滋賀方面から



神戸・姫路方面から



大阪南部・和歌山方面から



大阪市内方面から



門真・枚方・寝屋川方面から



奈良方面から



*所要時間には乗り換え時間を含みません。



+R 未来を生み出す人になる。

立命館大学

大阪いばらきキャンパスへ
 移転する学部・研究科の
 学生・院生のみなさんへ

O I C
 RITSUMEIKAN
 UNIVERSITY
 O S A K A
 I B A R A K I
 C A M P U S

2015年4月、大阪いばらきキャンパスが開設します。
 この冊子には、キャンパスの概要とあわせて、新しいキャンパス・新しいまちで学生生活を送るにあたって、学びや課外活動、日常生活についての情報をまとめました。この冊子を読んで、友達や保護者の方とも話をしながら、みなさんの中で大阪いばらきでの学生生活のイメージを膨らませてもらい、移転に向けた準備の参考にしてもらえればと思います。
OPENING IN APRIL 2015



1 大阪・茨木は どんなまち？

ABOUT IBARAKI CITY

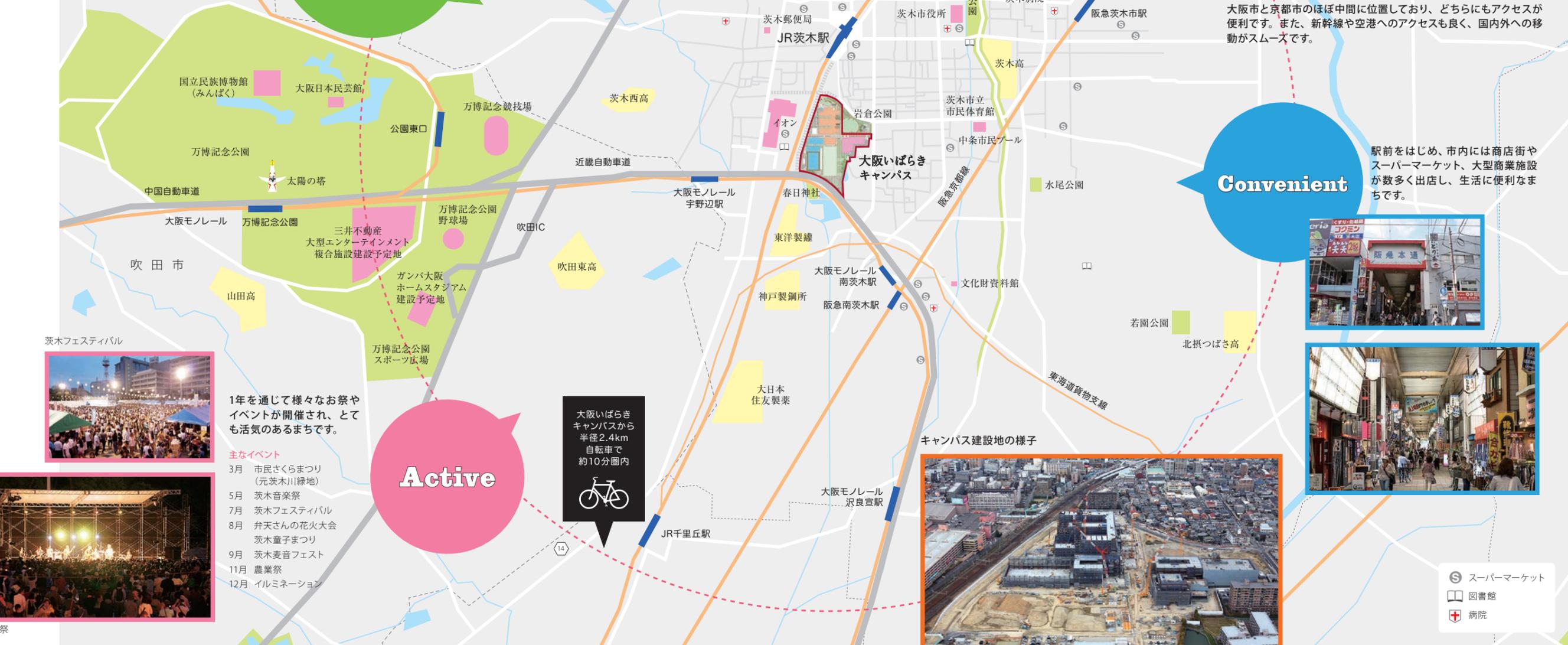
若園公園のバラ園



茨木市北部千提寺地区の里山

キャンパスが開設される市街地は市の南半分に位置し、北半分は丹波高原の老の坂山地の麓で豊かな緑に包まれています。市街地にも公園や緑地等が多くあり、緑豊かなまちです。

Greenery



Accessible



大阪市と京都市のほぼ中間に位置しており、どちらにもアクセスが便利です。また、新幹線や空港へのアクセスも良く、国内外への移動がスムーズです。

Convenient

駅前をはじめ、市内には商店街やスーパーマーケット、大型商業施設が数多く出店し、生活に便利なまちです。



Active

1年を通じて様々なお祭りやイベントが開催され、とても活気のあるまちです。

- 主なイベント
- 3月 市民くらまつり (元茨木川緑地)
 - 5月 茨木音楽祭
 - 7月 茨木フェスティバル
 - 8月 弁天さんの花火大会 茨木童子まつり
 - 9月 茨木麦音フェスト
 - 11月 農業祭
 - 12月 イルミネーション

大阪いばらきキャンパスから半径2.4km 自転車で約10分圏内



キャンパス建設地の様子

- スーパーマーケット
- 図書館
- 病院

(2014年2月21日撮影)

2 大阪いばらきキャンパスは どんなキャンパス?

ABOUT OSAKA IBARAKI CAMPUS

新キャンパスが目指すもの

立命館は、2020年を見据えた学園ビジョン(R2020)を定め、その基本計画として、「教育、研究、学生生活を支えるキャンパスづくり」を目標のひとつに掲げ、既存キャンパス(衣笠・BKC)の整備と、大阪いばらきキャンパスの開設に向けた準備を進めています。2015年4月に開設する大阪いばらきキャンパスには、経営学部・経営学研究科、政策科学部・政策科学研究科、テクノロジー・

マネジメント研究科、経営管理研究科が移転し、さらに2016年4月には総合心理学部の設置を構想しています。都市型の立地を活かして、産業界や行政機関等との一層の連携による教学展開とともに、立命館学園の社会連携のフロントライン、交流拠点としての機能を整備し、学生・院生のみなさんの更なる成長を支援するキャンパスを目指します。

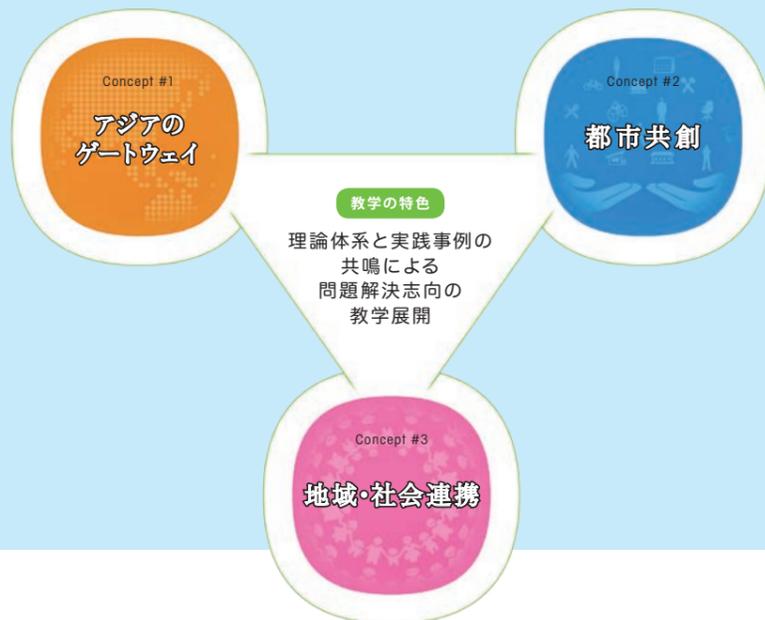


岩倉公園側外観

*パースは2014年3月現在の検討段階のものです。

キャンパスの軸となる3つの教学コンセプト

都市に立地するキャンパスの特性や、大阪いばらきキャンパスに展開する学部・研究科の特徴を活かした3つの教学コンセプトを掲げ、これらを軸としたキャンパス創造・教学展開を進めます。



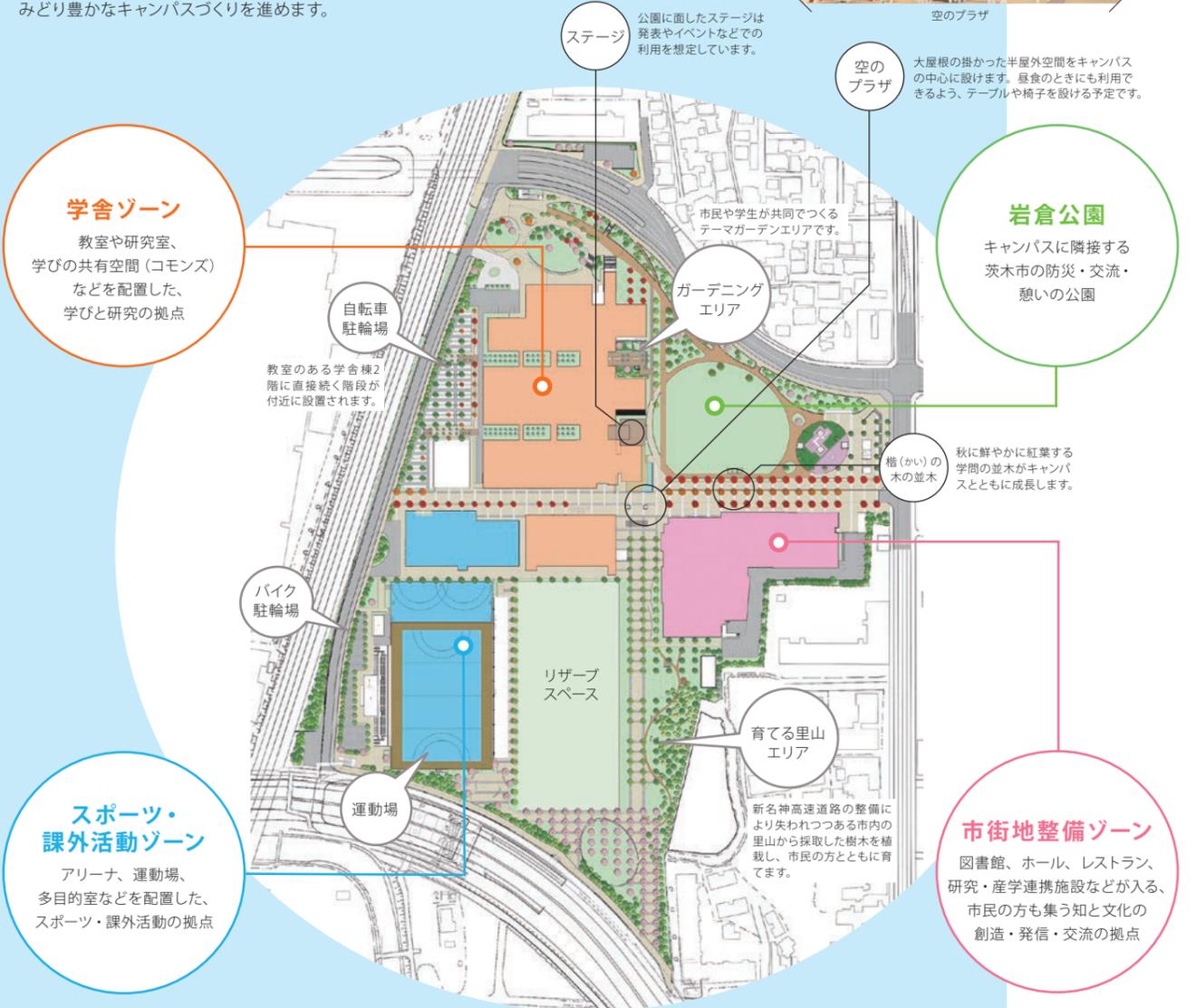
Concept #1
アジアのゲートウェイ
課題先進国である日本の経験と知の蓄積を活かして、アジアから世界へ、世界からアジアへ人と人、知と知をつなぐ「ゲートウェイ」としての役割を發揮します。

Concept #2
都市共創
都市に集積する多様な人材や組織をつなぎ、都市の中に点在するポテンシャルを最大限に引き出すことによって、新たな価値の創造を目指します。

Concept #3
地域・社会連携
地域・社会との連携を通じて教育・研究・学生活動のフィールドを拡げるとともに、多様な活動を通じて相互の信頼関係を育み、豊かな地域・社会づくりに貢献します。

キャンパス配置図

キャンパスには塀を設けることなく、多様な知が集う地域・社会に開かれたキャンパスを目指します。また、市民や学生が共同でつくり・育てるガーデンや里山エリアなど、みどり豊かなキャンパスづくりを進めます。



JR側外観



全体外観と岩倉公園

*パースは2014年3月現在の検討段階のものです。また、岩倉公園部分は、現段階の茨木市の計画を基に大学が作成したものであり、変更される場合があります。
*施設名称は全て仮称です。

FACILITIES

施設紹介

キャンパス全体をラーニング・プレイスと位置づけて、キャンパスのあらゆる場所で、いつでも、どこでも、誰とでも学び、学びあうことができるキャンパスを目指し、多様な学びの空間・機能を整備します。また、OICを「学生文化の発信拠点」として位置づけ、地域そして世界に開かれたキャンパスとして、学生の活動を学内外へ発信する機能を高めます。

● 教室

従来のスクール形式の教室のほか、グループワークやディスカッション、ワークショップなど、学生の多様なアクティブな学びに対応した教室も設けます。この教室は、可動式の椅子や机、ホワイトボード、AV機器などを設置し、利用者が学びのスタイルに合わせて自由に配置できるようにします。



● 共有空間 (コモンズ)・情報環境

学修支援を行うコモンズ、図書館内のラーニング・コモンズ、ICTの活用に特化したメディア・ラボ、学部教学に重点を置いたアカデミック・ラウンジ、アントレプレナー育成に特化したアイデア・ラボなど、キャンパス各所に目的を持った学びの共有空間 (コモンズ) を豊富に設けます。また、全館無線LAN対応や、ノートパソコンの貸し出しなど、キャンパスのあらゆる場所が学びの場となる環境を整備します。

● 図書館

学習・研究両面で活用できる、総合図書館です。閲覧室の一部は、キャンパスに隣接する岩倉公園に面して配置されており、開放感のある空間となる予定です。ラーニング・コモンズや、屋上のテラスを開放して「ガーデンライブラリー」も設置します。また、これまでどおり他キャンパスから資料を取り寄せることが可能です。



● コンコース

学舎棟には最大幅約18m、長さ約200mの大廊下「コンコース」が南北に走り、学生が行き交う廊下としてだけでなく、学生の学習・活動・交流・情報発信・憩いといった様々なアクティビティが可能なオープンスペースとして活用します。

● 飲食・物販施設

キャンパス内には、充実した学生生活を支える飲食施設・物販施設を設けます。利用者の様々なニーズを想定した、多様な店舗が出店予定です。また、半屋外空間の空のプラザやキャンパスに隣接する岩倉公園など、学生が集い、憩うことができる場所が各所にあります。

● 食堂 (立命館生協)

学生の日常の食生活を支え、健康で快適な食環境を提供するフードコートです。朝から晩まで営業し、各種の企画メニューや留学生の食生活にも対応した豊富なメニューを提供していく予定です。



● コーヒーストア (スターバックス)

高品質のアラビカ種コーヒー豆から抽出したエスプレッソがベースのバラエティ豊かなエスプレッソドリンクをはじめ、ペストリー、サンドイッチを提供します。



● 軽食 (Camping Kitchen)

ログハウスでキャンプをしているようなカジュアルな店舗。グリルメニューを中心にテイクアウトメニューやスイーツメニューを提供し、幅広い利用が可能です。



● レストラン

学内者だけでなく、近隣の方や来客の利用、さらにパーティや会食の利用も想定したおもてなしの空間です。ランチはメイン&サラダとパンなどをビュッフェスタイルで、ディナーはレストランバーとして利用できます。



● コンビニエンスストア (セブン-イレブン)

おにぎり、パン、お弁当、飲み物、お菓子、セブンカフェなどの食品の販売、行政サービスも可能なマルチコピー機、セブン銀行のATM、料金収納代行サービス、宅急便などを取り扱います。

● 総合ショップ (立命館生協)

教科書をはじめとした書籍・雑誌、文具、パソコンなどの販売や、各種検定試験受付、旅行サービス、住まいさがしなど、キャンパスライフをトータルにサポートします。



- オフィス・会議室など
- 飲食・物販施設
- 体育・学生施設
- 図書館
- ホール・付帯施設
- 共有空間 (コモンズ)
- 大・中教室
- ゼミ教室
- 情報教室
- その他教学施設
- 研究施設
- セミナーハウス
- 廊下・階段・吹抜など
- その他 (テラス、デッキ、屋上など)

● アリーナ・学生施設

1階にはトレーニングルーム、更衣室、防音の練習室、多目的室、ラウンジが併設されたサークルロッカーなどを設けます。2階にはバスケットボールコート3面分の広さを有するアリーナを設けます。



● 屋外運動場

正課授業、OICに活動拠点を移す体育会ホッケー部の活動、一般利用などを想定した、人工芝の運動場を設けます。運動場には観客席つきスタンドを併設します。

● ホール

● 大ホール (最大1,000名収容)

立命館大学が有する最も規模の大きいホールとなります。演奏会や講演会にも対応可能な音響設備、フルオーケストラの演奏が可能なステージ、同時通訳ブースなどを整備します。



● 小ホール (135名収容)

学会や講演会などでの利用を想定した施設で、固定の机・椅子を設けます。



● 平土間ホール (着席時最大400名収容)

可動式の椅子・机で小規模なイベントやレセプションなどに対応可能な施設です。パーティションで2〜3つに区切って使用することができます。

● セミナーハウス

教学・研究・交流のためのセミナーハウスを学舎棟5階に設置します。学生・教職員用合わせて約120名の収容規模で、正課での学び、課外活動、国際交流などをはじめ、多様な用途で活用できます。

*パースは2014年3月現在の検討段階のものです。
*施設名称は全て仮称です。

3 茨木へ引っ越す？ それとも今の住まいから通学する？

GETTING TO OIC

通学・住環境比較

OICの近隣に住むか、それとも今住んでいる所から通学するか、下の表を参考に、通学などにかかる時間と費用、自分のライフスタイル(課外活動、アルバイト、資格取得等)から検討してみてください。

通学にかかる費用 (1ヶ月)

現在の住まい(下宿先)から通う学生	
BKCの学生 例: BKC近くに住んでおり、南草津駅までは自転車で通いたい	
南草津駅付近駐輪場定期代 [参考] 南草津駅駐輪場(屋外)	1,800円
JR南草津駅⇄JR茨木駅間通学定期代	11,390円
計	13,190円
衣笠の学生 例: 円町付近に住んでおり、定期代が安い阪急を利用して通学したい	
西院駅付近駐輪場定期代 [参考] 阪急西院駐輪センター	2,300円
阪急西院駅⇄阪急南茨木駅間通学定期代	4,290円
計	6,590円
衣笠の学生 例: 円町付近に住んでおり、自宅に近いJRを利用して通学したい	
JR円町駅⇄JR茨木駅間通学定期代	8,780円
計	8,780円

※上記金額は全て2014年4月時点のものです。

OIC近隣に引っ越す学生	
自転車・徒歩の場合	
自転車・徒歩	0円

通学時間 (目安)

現在の住まい(下宿先)から通う学生	
BKCの学生 例: BKC近くに住んでおり、南草津駅までは自転車で通いたい	
自宅～JR南草津駅(自転車)	約15分
JR南草津駅～JR茨木駅(電車)	約40分
JR茨木駅～キャンパス(徒歩)	約5分
計	約60分
衣笠の学生 例: 円町付近に住んでおり、定期代が安い阪急を利用して通学したい	
自宅～阪急西院駅(自転車)	約15分
阪急西院駅～阪急南茨木駅(電車)	約30分
阪急南茨木駅～キャンパス(徒歩)	約10分
計	約55分
衣笠の学生 例: 円町付近に住んでおり、自宅に近いJRを利用して通学したい	
自宅～JR円町駅(徒歩)	約5分
JR円町駅～JR茨木駅(電車)	約40分
JR茨木駅～キャンパス(徒歩)	約5分
計	約50分

OIC近隣に引っ越す学生	
キャンパスから800mの場合	
徒歩	約10分
キャンパスから2.4kmの場合	
自転車	約10分

引越し 関連費用 (目安)

現在の住まい(下宿先)から通う学生	
引越しをしないので0円	

OIC近隣に引っ越す学生	
引越し費用	50,000円
礼金	150,000円
敷金	47,000円
計	247,000円

※上記金額は相場と考えられる金額です。あくまで目安として考えてください。

アルバイト

現在の住まい(下宿先)から通う学生	
・現在の住まい付近でアルバイトをしている場合、通学時間が変わるため、アルバイトの時間変更が必要な場合がある。	

OIC近隣に引っ越す学生	
・現在のアルバイトを辞めなければならない場合がある。	
・新しいアルバイトを探す場合、茨木から大阪市内へのアクセスがよいため、選択肢が広範囲に広がる。また、大阪市内には様々なアルバイトがあり、時給も京都・滋賀より比較的高い。	

就職活動

大規模な就職合同説明会や、大手企業の選考は大阪で開催されることが多いため、その都度大阪へ移動することを想定

現在の住まい(下宿先)から通う学生	
JR南草津駅～JR大阪駅 往復2,280円×30回 ※1 (片道約50分)	68,400円
上記区間の通勤定期代(1ヶ月) ※2	29,640円
JR円町駅～JR大阪駅 往復1,680円×30回 ※1 (片道約45分)	50,400円
上記区間の通勤定期代(1ヶ月) ※2	23,510円

OIC近隣に引っ越す学生	
JR茨木駅～JR大阪駅 往復440円×30回 ※1 (片道約15分)	13,200円
上記区間の通勤定期代(1ヶ月) ※2	6,480円
阪急茨木市駅～阪急梅田駅 往復540円×30回 ※1 (片道約20分)	16,200円
上記区間の通勤定期代(1ヶ月) ※2	10,010円

※上記金額は全て2014年4月時点のものです。

※1 往復回数はキャリアセンターが2012年度に就職活動を行った学生に実施したアンケートの平均値です。

※2 往復回数によっては定期券の方が経費をおさえられる場合があります。なお、就職活動のために「通学定期」を購入することはできませんので、「通勤定期」の料金となります。

茨木に引っ越すならば…

■ キャンパス周辺地域の家賃相場(参考)

大阪・茨木の物件は礼金が必要な場合が多いので、初期費用として見込んでおきましょう。また、金額等の条件は物件により様々ですので、事前にしっかり確認しましょう。

	平均				
	賃料(月額)	共益費(月額)	礼金	敷金	年間賃料 ※1
茨木エリア (OICまで自転車約20分圏内、約4km)	48,642円	3,491円	141,688円	46,438円	654,973円
[参考] 衣笠キャンパス ※2	45,634円	5,345円	31,430円	68,867円	622,689円
[参考] BKC ※2	45,717円	5,916円	0円	101,712円	619,595円

※1 年間賃料は4年間の総費用から算出した平均値です(賃料・共益費4年分+礼金÷4)

※2 衣笠・BKCの参考金額は、(株)クレオテックでの成約物件の平均値です

■ 住まいさがしスケジュール

在学生を対象に、学内で住まいさがしの相談会が開催されますので、引越しを予定している学生はぜひ活用して下さい。具体的な日時・場所は改めて告知します。

2014年	10月	在学生向け住まいさがし相談会開催・住まいさがしパンフレット配布開始
	11月～	現地案内・契約
2015年	2月・3月	引越し

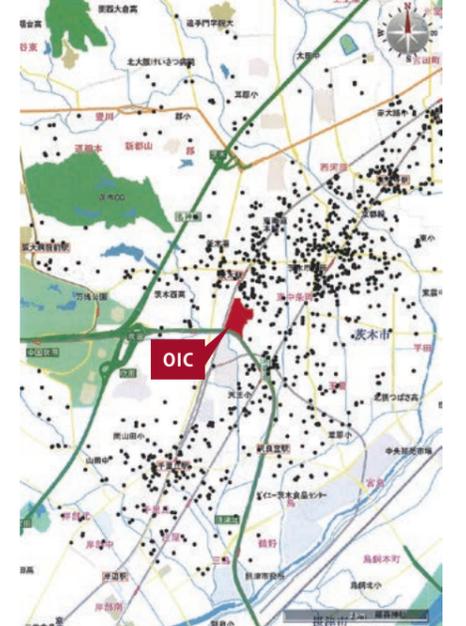
■ 住まいさがしに関する相談先

立命館生協・(株)クレオテック 衣笠 ☎0120-606-315 BKC ☎0120-077-390

■ 単身者向け物件があるエリア

キャンパス近隣をはじめ、周辺地域やJR・阪急沿線の駅周辺を中心に、金額・広さ・設備環境など、多様な単身者向けの物件があります。

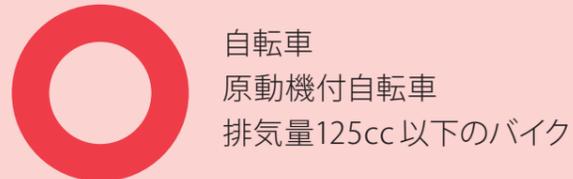
●…単身者向け物件



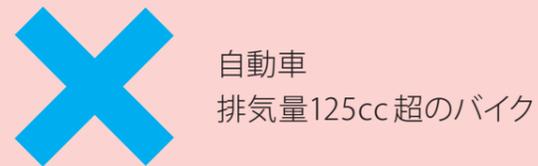
©2014ZENRIN CO., LTD. (Z14EG第114号) Z14EG第106号

4 駐輪場と通学ルール

駐輪場について



キャンパスには自転車、原動機付自転車、排気量125cc以下のバイクの駐輪が可能です。
なお、バイク通学は自粛を基本とし、必要な場合に限り「バイク安全運転講習会」を受講したうえで、「バイク通学登録」を行うことを条件に認めています。手続等の詳細は決定次第お知らせします。



自動車および排気量125cc超のバイクの入構は原則禁止です。

通学ルートについて

- ・キャンパス周辺は住宅地のため、通学可能ルートを指定する予定です。ルートに関しては決定次第HP等で告知します。
- ・キャンパス周辺に限らず、自転車やバイクで走行する際は、交通ルールを守り、事故のないよう気をつけましょう。

5 キャンパス周辺の道路等の整備

茨木市により、JR茨木駅からキャンパスまでの歩行者専用道路をはじめ、周辺道路や歩道橋等の整備が予定されており、通路路として学生も利用する道路環境が順次整えられます。



JR茨木駅東口駅前広場イメージパース



※各パースは2014年3月現在、茨木市が公開している完成予定イメージ図です。周辺状況を簡略化しているため、現況と異なる部分があります。

すでに多くの学生が茨木で活動を始めています



6 課外自主活動

OICを「学生文化の発信拠点」として位置づけ、学生のさらなる成長を支援します。学術・研究・ボランティアなどの学生活動は、地域や社会のなかに位置づく「Community-Based Learning」として展開を目指します。
下記のクラブは2015年4月より、OICが活動拠点となります。

- [体育会] ホッケー部、バドミントン部、バレーボール部
- [中央事業団体] 応援団吹奏楽部、応援団チアリーダー部

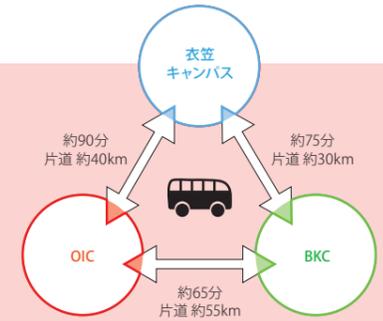
また上記クラブ以外にも、様々なクラブ・サークルが、3キャンパスでの新たな展開を検討しています。

7 他キャンパスへの移動

シャトルバスの運行

2015年4月から、OIC、衣笠、BKCの3キャンパスを結ぶシャトルバスの運行を検討しています。料金・運行ダイヤについては、現行のシャトルバスを基準に検討しています。詳細は決定次第HP等でお知らせします。

※安全面の観点から、OIC-BKC、OIC-衣笠キャンパス間の、原動機付自転車・バイクによるキャンパス間移動は避けてください。



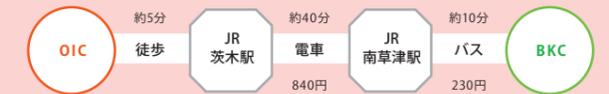
公共交通機関での移動

公共交通機関で移動する場合の所要時間・交通費目安(片道)は下記の通りです。

OIC ... 衣笠キャンパス 片道550円 約60分



OIC ... BKC 片道1,070円 約55分



OIC ... 衣笠キャンパス 片道810円 約55分



※公共交通機関を利用する場合、往復回数によっては定期券の方が経費をおさえられる場合があります。なお、課外活動のために「通学定期」を購入することはできませんので、「通勤定期」の料金となります。※上記金額は全て2014年4月時点のものです。

8 喫煙について

- ・キャンパス内は全面禁煙です。
- ・隣接する岩倉公園や、路上での喫煙も茨木市の路上喫煙防止条例により、禁止されています。

*「路上喫煙」とは、道路や公園などの屋外の公共の場所における喫煙、または火のついたたばこを持つことをいいます。



東側外観 ※パースは2014年3月現在の検討段階のものです。

9 OICに設置予定のオフィス

各学部・研究科事務室はもちろん、課外活動や学生生活の支援機能、留学生や海外留学などの支援機能、キャリアや資格試験の支援機能など、他キャンパスと同様に、学生・院生の学習や生活をサポートするオフィスがOICにも設置される予定です。
これらのオフィスの多くは、学舎棟1階に集中して配置します。



課外自主活動 ハンドブック

情報宣伝(情宣)、施設予約、備品貸し出しなど、課外自主活動に関するルールをまとめた「課外自主活動ハンドブック」は、2014年秋頃公開予定です。